

生産管理入門研修
【生産管理を初めて学ぶ】

生産管理基礎研修
【役割や技法を学び実践に繋げる】

生産管理研修
【管理用務に役立てる】

生産管理基礎研修

生産管理とは製品の生産に関するコスト（原価）、品質、納期に注目し、人、設備、材料を経済的、効率的に運用し、企業全体としての生産力を最大限に発揮させるための仕組みです。本研修では生産管理を分かりやすく、実践に即したプログラムで基本的な考え方や技法を体系的に学んでいただきます。

<p>【開催日時】 <3日間> 令和2年10月14日（水）21日（水）22日（木） 9：30～16：30（昼休憩1時間）</p>	<p>【カリキュラム】</p> <p>1. 生産管理の役割を考える</p> <p>1-1. モノづくり企業の経営活動の構造 1-2. モノづくり企業を取り巻く環境変化 1-3. 変化・変革・変貌を求められる我々 1-4. これからの生産管理の役割 1-5. 生産管理が抱える機会損失の実態 【演習①】「当社の機会損失の実態」</p>
<p>【定員】 30名</p>	<p>2. 生産管理を実行するための「原理原則」を学ぶ</p> <p>2-1. 生産管理の仕事（目的/目標/指針/方法） 【演習②】「当社の生産管理の仕事の定義」 2-2. 生産管理の仕事の目的と目標 2-3. QCDQゴールから考えた、1M2M3M4M仕事の在り方 2-4. QCDQ決定/発生曲線と各部門の生産管理業務への関わり 【演習③】「当社の決定/発生曲線上の管理技法の顕在化」 2-5. QCDQ/Pを実現する管理技術 【演習④】「当社の管理技術の棚卸し」 2-6. 生産管理を支える周辺機能と技術</p>
<p>【受講料】 会 員 23,400円 一 般 29,700円（消費税込）</p>	<p>3. 生産管理の主な役割「生産方式」を学ぶ</p> <p>3-1. 主な生産方式と運用ポイント 【演習⑤】「当社の管理技術/生産方式の実効度」</p> <p>4. 情報経営時代の生産管理システムを学ぶ</p> <p>4-1. 経営活動における情報管理システムの変遷 4-2. 経営意思決定のための生産管理情報の入出力と方法 4-3. IoT/インダストリー4.0/スマート工場の期待 【演習⑥】「当社の情報システムの活用度と機会損失」</p>
<p>【主催】（公財）埼玉県産業振興公社 研修・情報G TEL048-647-4087</p>	<p>5. 総合演習 【演習⑦】「当社の生産管理の問題（機会損失）と対策方向」</p>
<p>【研修会場】</p>  <p>ソニックシティビル10階 埼玉県産業振興公社 研修室</p> <p>JR大宮駅西口より徒歩5分 ※駐車場は有料（30分210円）ですので電車をご利用ください さいたま市大宮区桜木町 1-7-5 大宮ソニックシティビル 10階 埼玉県産業振興公社 研修室</p>	
<p>【講師】 ACE西水経営士事務所 所長 西水 晃 氏 【プロフィール】 1984年工業高専卒。米国コンピューターメーカーに勤務、生産現場・生産管理・生産技術と生産実務に従事した後、モノづくり工場改善コンサルティング業務に転身。モノづくり管理技術であるIE/VE/QE/PEに精通した改善コンサルティング技術で、モノづくり工場現場のコスト改善や生産性向上改善活動に貢献している。</p>	

お申し込みは・・・FAX 048-645-3286

生産管理基礎（20KDC）

企業名		TEL		
		FAX		
住所〒		事務担当者		
フリガナ 受講者氏名	所属部署・役職	年齢	勤続年数	性別
				男・女

個人情報の利用目的のご案内

当社は個人情報を、以下の目的で利用させていただきます。また、募集活動で入手した情報は、当社の事業で使用し管理します。

- ・研修やイベントなどに関する情報のご案内（送付を含みます）
- ・研修の運営上必要となる受講生名簿・受付簿の作成
- ・各種相談やお問い合わせに関する対応など
- ・申込書にご記入いただいた範囲内で受講者名簿として講師に提出します。
- ・当社が実施する各種調査の公表
- ・もし差し支えがある場合、事前にお申し出ください。

※公表する際は特定の個人を識別できないように配慮します